ルビコンレポート　2026年10月号

ルビコンレポート 2026年10月号

今週のプロンプト4本と、「声」の保護が動いた10月の生成AI×知財ニュースをまとめてお届けします

> ※このレポートでは、参加者の皆さまのお名前や所属、個別の投稿内容が特定できる情報は掲載しておりません。必要に応じて内容をマスキング・要約した上でお届けしています。

発行予定 2026.11.10　編集 ルビコン運営　#ルビコンレポート　#今週のプロンプト　#生成AIニュース



目次

1. 10月のハイライト：プロンプト4本、ニュース24本、ブログ8本
2. 今週のプロンプト：英訳チェックから公報の対比まで、4本とも検証結果つき
3. 10月の生成AIニュース：「声」の保護とAI学習を巡る動きが続いた月
4. ブログ：利用規約シリーズと「公報20件での検証」が始まりました
5. コミュニティの動き：ニュースは土日も、知財の話題があれば配信
6. 11月の予定：プロンプト#012から、毎週1本ずつ

7. 同僚の方にもルビコンを

10月のハイライト：プロンプト4本、ニュース24本、ブログ8本

ルビコンの10月の活動をまとめました。

Discordをなかなか覗けなかった方も、参加を迷っている方も、このレポートで先月の流れと雰囲気をつかんでいただけたらうれしいです。

「今週のプロンプト」を4本公開（#008〜#011）

英訳を見据えた和文のチェック、拒絶理由通知の論点整理、従属項の候補出し、公報と本願の対比の4本です。

出願前から中間対応、調査まで、実務の流れに沿った顔ぶれになりました。4本とも、わざと問題を仕込んだ架空の素材で試した結果を付けています。

生成AIニュースは、10月だけで24本

生成AIによる「声」の無断利用を巡って、裁判所の初判断、業界団体のガイドライン、法改正の検討と、動きが続いた月でした。

海外では、AIの学習データを巡る著作権訴訟が相次ぎました。

ブログは8本を公開。9月の1本から大きくペースアップ

生成AIの利用規約を読み比べるシリーズや、公開特許公報20件を使った検証記事が始まりました。

月初には、前号のルビコンレポート（2026年09月号）も公式サイトに掲載しています。

ニュースは土日も、知財の話題があれば配信

10月から、生成AIニュースは毎朝の配信になりました。

土日は、知財×生成AIや知財業務の効率化といった、特に実務に近い話題があるときだけお届けしています。



図1　10月のルビコンを数字で

今週のプロンプト：英訳チェックから公報の対比まで、4本とも検証結果つき

プロンプト本文・検証結果・注意点をセットで

10月は#008〜#011の4本を公開しました。どれも、プロンプト本文・実際に試してみた結果・使うときの注意点をセットにしています。

全文はDiscordの「今週のプロンプト」チャンネルでご覧ください。



Discordの「今週のプロンプト」チャンネル（10月公開の4本を抜粋）。各スレッドにコメントが4〜6件付いています

#008　英訳を見据えた和文のチェック（10/5）

外国出願を予定している明細書で、翻訳者が誤読しそうな箇所や、英訳すると曖昧になる箇所を和文の段階で洗い出すプロンプトです。

係り受けや主語の抜け、単数・複数の曖昧さなど、英訳で問題になる箇所を10個仕込んだ架空の明細書で試したところ、10個すべてを検出しました。

一方で、修正案をすべて採ると和文が重くなります。国内出願としての読みやすさとのバランスは、人が決める部分です。

#009　拒絶理由通知の論点整理（10/12）

複数の理由が並ぶ拒絶理由通知を、条文・請求項ごとに表に整理するプロンプトです。

架空の通知書に仕込んだ「認定の誤り」4点は、4点ともすべて拾えました。

ただし、「争えるかどうか」の評価は、引用文献の実物を読んでから判断したいところです。出力はクライアントへの報告にそのまま流用せず、自分用の整理メモとして使うのがおすすめです。

#010　独立項から従属項の候補を展開する（10/19）

独立項が固まった段階で、中間対応で使える減縮の選択肢を、従属項の候補として広げるプロンプトです。

明細書にサポートがある限定29項目のうち、26項目が従属項の候補として挙がりました。サポートのない「罠」3個も、すべて「サポートなし」と判定しています。

候補は45件出てきますが、実際に残すのは一部です。事業上カバーしたい範囲を踏まえて選ぶところが本番になります。

#011　ヒットした公報を要約し、本願との差分を整理する（10/26）

調査でヒットした公報を要約し、本願の構成要件ごとに一致・相違を整理する、一次スクリーニング向けのプロンプトです。

架空の公報3件で試したところ、3件×6要件の18マスの判定が、すべて正解と一致しました。

それでも、「一致」とされた箇所は公報の該当段落を自分で読むのが前提です。「非該当」とされた文献をそのまま捨てない、という注意も添えています。



図2　10月のプロンプトを、実務の流れに並べると

試したら、スレッドにひと言どうぞ

試してみた方は、スレッドに「うちではこう使った」「ここはうまくいかなかった」とひと言いただけると、みんなの検証が進みます。

いいねだけでも大歓迎です。

10月の生成AIニュース：「声」の保護とAI学習を巡る動きが続いた月

毎朝、1本ずつ配信しています

毎朝8時ごろ、Discordの「生成aiニュース」チャンネルに1本ずつ投稿しています。

10月の24本のうち、知財実務に関わりの深いものを中心にピックアップしました。



声にも「パブリシティー権」、東京地裁が初めて判断（10/1）

声優の声をAIで模倣した事案を巡る訴訟で、東京地裁が、声にもパブリシティー権が及ぶとの初めての判断を示したと報じられました。

9月に取り上げた「声・肖像」の被害額試算に続く、声の保護を巡る大きな一歩です。

声の権利を法律に明記へ、不正競争防止法の改正を検討（10/15）

生成AIによる声の無断利用が広がっていることを受け、経済産業省が、声の権利の保護を不正競争防止法の改正で法律に明記する方向で検討していると報じられました。

10月は、声優などが加入する業界団体が、声の生成AI利用に事前の本人許諾を求めるガイドラインを初めて作成したことも話題になりました（10/13）。



図3 「声」の保護を巡る動き（9月〜10月）

AI学習方法の開示を求める「プリンシプル・コード」、運用が始まる（10/27）

生成AIの知財保護に関する政府の基本原則「プリンシプル・コード」の適用が、10月26日に始まりました。

AIの開発・提供事業者に、学習データの種類や学習方法の概要の開示を求めるものです。8月に正式決定が報じられたテーマの続報になります。

米控訴裁、AI学習のフェアユースを否定した一審を維持（10/5）

米国の控訴裁判所が、法律情報サービスとAIスタートアップの訴訟で、AIの学習へのフェアユースの適用を否定した一審判決を維持したと報じられました。

AIの学習と著作権の関係を巡って、控訴審レベルの判断が示された例です。

米国で、AI学習を巡る著作権訴訟が相次ぐ（10/10〜10/30）

大手新聞グループによる提訴（10/10）、約300人の作家による個別提訴（10/24）、音楽の権利者による提訴（10/26、10/29）などが続きました。

集団訴訟の和解から離れて、作品ごとの賠償を求める動きが出てきたのも10月の特徴です（10/24、10/30）。

このほか：AIモデル名の商標訴訟、実務ツールの新機能も

AIモデルの名称を巡る商標権侵害訴訟（10/9）、生成AI画像・動画の著作権リスクを判定するツールやサービスの提供・機能拡充（10/20、10/31）、特許文書も対象とする翻訳AIの完全自動モード（10/6）なども取り上げました。

主要なAIサービス各社の新モデル公開や、業務向けAIエージェントの発表も相次いでいます。

感想や疑問は、各ニュースのスレッドへ

詳細は、スレッドに付いている元記事リンクからご覧いただけます。

各ニュースのスレッドで感想や疑問をどうぞ。

ブログ：利用規約シリーズと「公報20件での検証」が始まりました

10月は8本を公開

公式サイトのブログは、10月に8本を公開しました。

- 10/2　生成AIで特許明細書は書ける？専門家のチェックが欠かせない理由
- 10/8　生成AIに発明を入力したら、新規性（特許法29条1項）を喪失する？
- 10/15　今週のプロンプト #007　明確性要件で危ない表現を生成AIで洗い出す
- 10/16　生成AI利用規約シリーズ 第1回　汎用型生成AIの利用規約比較表
- 10/17　誤字脱字のチェックに生成AIはどこまで使えるか — 公開特許公報20件での検証
- 10/19　審査で指摘された記載要件の不備を、生成AIは出願前に検出できたか — 公開特許公報20件での検証
- 10/23　生成AI利用規約シリーズ 第2回　プランごとの利用規約の違いを読む
- 10/27　弁理士の生成AIガイドラインを実務目線で読む

10/2には、前号の「ルビコンレポート 2026年09月号」も掲載しています。

未公開の発明を入力する前に読みたい「利用規約シリーズ」

第1回では、5つの汎用型生成AIサービス・15プランを、学習への利用や秘密保持などの観点で比較しました。

第2回では、1つのサービスを取り上げ、個人向け・法人向け・APIでの違いを7つの観点で読み比べています。

公開特許公報20件で試した検証記事

誤字脱字・表記ゆれ・符号の不一致のチェックと、審査で指摘された記載要件の不備を出願前に見つけられたか、の2本です。

実際の公報を使った検証なので、「どこまで任せられるか」の感触をつかみやすい内容になっています。



公式サイトのブログ一覧。10月は、利用規約シリーズや公開特許公報20件での検証記事などを公開しました

同僚の方へのシェアも歓迎です

ブログは、ルビコンの外にいる同僚の方にも紹介しやすい内容にしています。

ぜひシェアしてください。ブログ一覧はこちらです。

コミュニティの動き：ニュースは土日も、知財の話題があれば配信

生成AIニュースが毎朝の配信に

これまで平日の朝だけだった生成AIニュースを、10月から毎朝お届けしています。

土日は、知財×生成AIの話題と、知財業務の効率化につながるツール・事例に絞って配信し、該当がない日はお休みしています。



Discordの「生成aiニュース」フォーラム（10月下旬の投稿の一部）。1本ずつスレッドになっていて、元記事のリンクから詳細をご覧いただけます

ブログの更新ペースが上がりました

9月は1本だったブログが、10月は8本になりました。

「今週のプロンプト」の解説、「いまさら聞けない」シリーズ、利用規約や公報を使った検証など、ルビコンの外の方にも届く読み物を増やしています。

ルビコンレポートを公式サイトにも掲載

前号から、このルビコンレポートをメールだけでなく、公式サイトのブログにも掲載しています。

過去の号は、ブログの「ルビコンレポート」カテゴリからいつでも読み返せます。

> **分からないことは「運営への質問」へ**

使い方で分からないことは、Discordの「運営への質問」チャンネルへお気軽にどうぞ。

11月の予定：プロンプト#012から、毎週1本ずつ

> **今週のプロンプト：#012「クレームから実施の形態の骨組みを起こす」から**

11月は、次の4本を順に公開する予定です。

- #012　クレームから実施の形態の骨組みを起こす
- #013　課題・解決手段・効果の整合性をチェックする
- #014　発明の上位概念・下位概念を段階的に整理する
- #015　クレームと明細書の用語対応をチェックする

明細書を書く・見直す場面で使えるものが続きます。

> **ブログ：毎週木曜に公開予定**

公式サイトのブログは、毎週木曜に公開する予定です。

> **生成AIニュース：引き続き毎朝配信**

生成AIニュースは、引き続き毎朝お届けします（土日は知財の話題があるときのみ）。

同僚の方にもルビコンを

> **参加は無料。事務スタッフや企業知財部の方も歓迎です**

ルビコンは参加無料です。

弁理士・特許技術者の方はもちろん、特許事務スタッフや企業知財部の方も参加いただけます。

「生成AI、どう使えば？」と話している同僚の方がいたら

「生成AI、事務所でどう使えばいいんだろう」。

そんな話をしている同僚の方がいたら、このレポートを紹介していただけるとうれしいです。

参加方法は、参加案内ページにまとめています。

今月も、どうぞよろしくお願いします。

ルビコン　知財実務 × 生成AI 共創コミュニティ

ルビコンに参加しませんか（参加無料）

ルビコンは、特許事務所の弁理士・特許技術者・事務スタッフや、企業の知財部員など、知財実務に携わる人のための生成AIコミュニティです。Discordを拠点に、次のような活動をしています。

- 毎週「今週のプロンプト」を公開し、プロンプト全文と検証結果を共有
- 知財実務に関わる生成AIの最新ニュースを共有
- 実務での使い方や困りごとを、実務家どうしで気軽に相談

参加は無料です。参加方法は「参加案内」ページをご覧ください。

参加案内ページを見る